



### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1191700044		
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・鴻巣		
所在地	埼玉県鴻巣市大芦1499-1		
自己評価作成日	西暦2021年10月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ケアシステムズ		
所在地	東京都千代田区麴町1-5-4-712		
訪問調査日	西暦2021年11月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新型コロナの終息はまだ見えないままでの生活時間が続いています。その中で御家族様と御利用者様との絆がほぐれないように願いを込めて、みんなの家・鴻巣は独自の面会方法を続けてきました。みんなの家・鴻巣の地域性や立地条件があつてこそ、この大変な時期でも面会を続けてこられたのだと思います。面会禁止というよりも顔色がわかる距離を大切にしています。垣根越しから陽だまりのソファに座りお話をされたり、花を置く幅1.8メートル程のテーブルを挟んで面会を楽しんで頂いたりしています。今はいろいろなことに挑戦できない状況ですが、御家族様との距離は何時も近いものであるようにしたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの1階には庭に隣接するテラスがあり、そこを活用して利用者が日向ぼっこなどの気分転換や洗濯干しなどを行っている。また、家族の要望を受け、テラスを上手く活用して庭から家族が面会ができるという工夫も行っている。利用者の意向については、日々の生活の様子や言動から汲み取るようにしており、ケアプランの作成につなげているが、ケアプランに反映するアセスメント、モニタリング、生活記録などの記載については今後の課題となっており、帳票類の内容の充実化が期待される。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念と事業所理念が共に反映しあえるものとなっています。	事業所理念は各会議の中で話し合いの時間を持ち、大切さを確認し合うようにしている。新人職員、派遣職員にはわかりやすく説明し、職員同士でも声をかけあい、理念に沿ったケアの実践にむけて取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	御利用者様の生活歴や地域との関わり方を考慮して程よい距離のパイプ役になれるように支援しています。	コロナ禍であっても近隣幼稚園児が垣根越しに歌を披露したり、手作りカレンダーのプレゼントがあるなど交流が続いている。職員は月2回町会の清掃に参加するなど地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症が特別なことではなく、今までのような生活を継続しながら自分らしい生活を続けられるように支援しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括センターや行政、地域の方々の協力をいただきながらサービス向上に力を入れています。	コロナ禍においては運営推進会議は中止となっているが、事業所の近況報告をするともに、開催にむけての議題提案もお願いしており、町会や役所へは持参し家族には郵送している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業者連絡会、地域ケア会議等行政や公的機関の情報交換などを有効に活用させていただいています。	市役所主催の研修案内があり、職員が参加した後は職員会議で報告し職員間で共有できるようにしている。事業所連絡会や地域包括とはメールで情報交換を行い連携に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を年に4回開催しています。研修会も年2回開催しています。	身体拘束委員会は3か月に1回、研修を年2回実施している。また、解りずらいグレーゾーンについて個別に説明する機会を設けるなど、一人ひとりの理解が深まるように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待をする側される側の根本的な原因を想定した虐待防止委員会を年4回開催・研修会を年1回開催して抑止できる体制を心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	インターネットを活用しています。また、新聞等で現実にあった事例を検討させていただいています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明不足等で理解と納得が出来ないままではなく、相互理解に至るまでお時間を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護職員一人一人が御家族様、御利用者様と常に向き合い共有姿勢で対応させていただいています。	コロナ禍であるが、近隣の家族が多く、電話よりも訪問を希望する声もことから、テラスを利用して家族からの意見や要望を聞く機会を設けている。会議で共有し検討のうえ、運営に反映できるようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	立場的な関係を重視せず、よりよい意見の提案を最優先としています。	個人面談以外にも、職員からの意見を聞く機会を設けており、本部へも意見を伝えるようにしている。職員からの意見や提案はできるかぎり運営に反映できるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	創意工夫や向上心を持って努力することを高く評価しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、テーマを決め個々の能力に合わせて話し合いの機会を持っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナの影響を受け、他事業者やその他の関係各所については電話交流にとどまっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には御家族様より話せる範囲で情報の提供を頂いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に至るまでには何度もお話し合いの時間を頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な人に必要な介護を、心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	認知症は個性と捉え、何かが出来ないと言うことではなく何が出来るかを支援したいと思います。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様の連携と協力が大切です。共有して共に支えあいたいと思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナの終息がなされるまで関係性が途切れないように努力しています。	職員とお墓参りに行ったり、家族と外食を楽しんだりできるように支援を行っていたが、コロナ禍において中止している。知人や友人との手紙や電話の取次ぎなどで関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の活発な交流がみられています。それぞれの個性を主張しながらも協調性を上手くコントロールしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居、退去に関わらずいつでも必要としていただければ情報の共有をさせていただきます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中から御利用者様が今、何を求めているかを見つける努力をしています。	意思疎通が難しい利用者の中には、日々の生活での言動や様子から意向を汲み取るように取り組んでいる。また、家族には毎月、電話にて施設での生活の様子を伝えるとともに意向の確認に取り組んでいる。	利用者から汲み取った意向や家族からの意向などは生活記録や申し送りノートに記載するようにしているが内容が希薄なため、より詳細に記載することが期待される。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御利用者様それぞれの個性、習慣、生活歴をサービスに反映できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	今日出来ることが明日もできるように気力の維持継続に力を入れています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族様、御利用者様、介護者其々の立場での意見意向を共有したものを介護計画に反映できる努力をしています。	3か月毎のモニタリングと6か月毎のサービス担当者会議を実施し、家族からの意向を確認して、再アセスメント後にケアプランの見直しを行っている。また、利用者の心身状態の変化があれば都度でのケアプラン見直しもを行っている。	コロナ前にはサービス担当者会議の出席を家族に促していたが出席率は低かったため、出席してもらえよう工夫が望まれる。また、利用者の出席もみられないため、促しの検討が期待される。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の生活記録の他に、日々の詳細な情報の伝達のために申し送りメモの作成をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御利用者様の人数だけ介護の多様性が必要だと考えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加させて頂いたりしていましたが、コロナ禍により今は距離をあけて笑顔の交換程度にとどまっています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関と御家族様の直接契約となっています。	月2回、内科と歯科医師の往診があり、毎週での看護師、歯科衛生士の来所がある。医療連携連絡表などを活用して、連携を図りながらの支援に努めている。担当医は訪問する内科医となっているが、希望があれば変更も可能となっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な訪問と、日々の容態の変化にもすぐに対応できる体制を構築しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時にはそれぞれの立場での情報交換・情報共有を最優先としています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期は、御家族様・医師・介護者との話し合いとしています。	重度化や看取り介護に移行する際には、利用者や家族に説明を行い、意向の確認をしている。また、担当医からの直接での説明の場を設けるようにもしている。	看取り介護に移行した際には加算を取っていないというこもあり、看取りに関する同意書を利用者や家族と交わしていない。加算の有無に関わらず、同意書を交わすことの検討が望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訪問医や訪問看護師から指導を頂いています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練の時には消防署の立ち合いをお願いして改善点の指導を頂いています。又、新型コロナが終息した際は近隣の方々の参加もお願いしたいと思っています。	火災想定と水害想定避難訓練を行っている。避難訓練後には、反省点なども含めて詳細に記録し、避難訓練に参加できなかった職員でも共有できるようにしている。また、消防署や自治会などの避難訓練参加はコロナ禍では控えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者様との間合いや距離感には細心の配慮を心掛けています。	身体拘束・虐待防止委員会が中心となり、毎月での内部研修を行っている。会議録は詳細に記録し、職員間で共有化を図っている。また、認知症や接遇に関する外部研修も参加していたが、コロナ禍では控えているのが現状となっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	遠慮をしない、させない介護を実践しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	提案はさせていただきますが、選択肢は御利用者様に決定していただいています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者様の生活歴や地域との関わり方を考慮して程よい距離のパイプ役になれるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる楽しみは元気の素になるようにしています。漬物など御利用者様に教えていただき作って食べてと楽しんでいます。	おやつ作りなどの利用者と一緒にいる食事レクリエーションを行っている。また、漬物や干し柿なども利用者と一緒に作っており、日常的に活動を行い、食に対する意欲の向上に繋げるように努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導に沿って作成されていますが、それぞれの食形態によりアレンジさせていただくこともあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師・歯科衛生士に直接指導を受けたスタッフが口腔ケアの支援をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	立位が出来る間は、トイレでの排泄を大切にしています。	排泄チェック表を活用して、利用者の排泄リズムを把握し、声掛けやトイレ誘導を行っている。利用者一人ひとりのリズムに合った排泄により、リハビリパンツから布パンツに変更した利用者などもいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく薬に頼らず、体操や食べ物での改善を検討しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	マンツーマン対応をさせていただいていますので、お一人様だけの入浴時間を楽しめるように支援しています。	入浴実施表を活用して週2回程のペースで入浴の実施をしている。拒否などがみられた場合には無理に誘導せず、利用者に合った時間や日にちに変更している。また、入浴剤使用や入浴時での職員との会話で入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日、起床と入眠の基本的なサイクルを大切にしていますが、時として御利用者様を優先する支援も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・看護師・薬剤師との連携を密にしながら細かな症状の変化にも早い対応ができるように努力しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食べる楽しみを一番にしています。御利用者様のリクエストに沿った支援となるように努力しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の影響により今迄と同じような支援は難しくなっていますが、出来る範囲ではありますが努力しています。	近隣の体育館で運動会を実施したり、地域の祭りの参加や買物外出を行っていたが、コロナ禍では控えている。人との接触がないよう1階のテラスを活用して外気浴を行ったり、施設周りの散歩などで気分転換をしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族様と御利用者様との相談により決めさせて頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナ禍により面会も思うようにいかず御家族様にお手紙をお願いしたり、御利用者様に代わり近況報告を書かせて頂くこともあります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節のメリハリを大切にしています。風や太陽にも季節を感じて頂けるよう工夫しています。	共有スペースにはレクリエーション活動で作成したものを飾ったり、隣接する幼稚園の園児が作ったカレンダーや花なども飾っている。また、常に換気には気を配り、オゾン発生空気清浄機を使用してフロアの環境にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本的なルール以外は一日自由に過ごしていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同生活に支障がない限り、御利用者様の意向に沿っています。	在宅で使い慣れたタンスなどの家具や仏壇などを持参することが可能となっている。また、布団を希望する場合にはマットレスを敷いて対応を行っている。居室の掃除は利用者と一緒にいき、主に利用者はゴミ処理などの手伝いを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリー化されています。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が難しくなっている為、地域の方々や御家族様との距離が少しだけ離れてしまったように思えます。膝を交えて生のご意見が聞こえづらくなっています。アンケートなどの回収率はとても低くなっています。	コロナの終息が最優先ですが、解けそうな御家族様との絆を継続させることが今は、一番の目標です。運営推進会議や家族会という情報共有の場が維持できていないために面会時の小さな情報を大切にしていきたいと思います。	定期的なアンケート配布を実施してみる。回収率を見込むのではなく、お知らせや取り組みをされていた頂けるだけでも成果とする。	12ヶ月
2	35	コロナにより近隣の方々の参加協力が得られていない。	今の環境状況に於いて緊急時の避難誘導の効率化を検討し、近隣のマンパワーをどこまで活用できるか試算する必要がある。緊急時の戦力になるような関係性の構築をしていきたい。	緊急時の訓練を繰り返し、判断力の向上をしていく。その時の職員の力が平均化出来るように日々の声掛けや避難経路を全員に周知する。常に日々の成果が発揮できる体制作りを心掛ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。